学校番号	T1202

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	『高等学校　倫理』（第一学習社）						
副教材等	自作教材・プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・先人の思想や生き方を、時代背景やエピソードとともに理解する。
・現代社会の倫理的な課題について考えをまとめ、自分らしい生き方を追究する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や,現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して,論理的に思考し,思索を深め,説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方にかかわる事象や課題に関連して,学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり,他社と共によりよく生きる自己の形成に向けて,多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	人間の心と自己形成	・人間とは何か ・.さまざまな人間の心のあり方 ・自立して生きる主体の形成	a:人間がどのように感じ，学び，考え，行動し，発達するかに関して，心の仕組みと成り立ちを理解している。 生きる意味について，様々な視点から考え，今後の自分の生き方に生かす知識として身につけている。 b:様々な人間の心のあり方を踏まえて，人間とは何かを思索し，他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めている。 c:様々な人間の心のあり方について，科学的に探究した各種の実験や観察，調査に基づく統計的な分析の結果を読み取ったり，対話や作文などを通して学習を深めたりしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント

前期中間・期末	人間の存在や価値と宗教	・ギリシアの思想 ・ユダヤ教とキリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国の思想 ・宗教や芸術	a：ギリシア思想やキリスト教、イスラーム、仏教、中国思想について理解している。 人生における宗教や芸術のもつ意義について理解する。 b：ギリシア思想やキリスト教、イスラーム、仏教、中国思想などの考え方を手掛かりとして、人間の生き方についてよく考察している。 人生に関わる課題は，古今東西の宗教や芸術によって探究されてきた課題でもあり，その解決のために宗教や芸術が誕生してきたことを理解している。 c：ギリシア思想やキリスト教、イスラーム、仏教、中国思想に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 芸術とは何か，芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて，自らの生き方と関わらせて思索を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント
	国際社会に生きる日本人としての自覚	・日本固有の思想 ・外来思想の受容 ・町人思想のめざめと庶民思想 ・西洋思想との出会い	a：日本の風土や伝統、仏教や儒教、西洋思想などの外来思想の受容と吸収について、日本人にみられる人間観や自然観、宗教観について理解している。 b：日本人にみられる人間観や自然観、宗教観の特質について考察している。 c：日本の風土や伝統、外来思想の受容についての関心をもち、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方や生き方を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント

後期中間・期末	現代の人間と社会をとらえる思想	・心の深層と無意識 ・生の哲学と現象学 ・フランクフルト学派 ・構造主義・言語哲学 ・他者と偏見 ・正義と社会	a:ルネサンス以後、西洋で形成、展開されてきた合理的精神や民主社会の倫理、科学技術文明の在り方、人間の尊厳の自覚などについて、自己の生き方とつなげて理解している。 b:現代に生きる人間が直面する諸課題について、ルネサンス以後から現代に至る西洋思想を手掛かりとして、多面的・多角的に考察し、倫理的な見方や考え方を身に付け、自己の生き方にどのようにかかわるかを公正に判断している。 c:現代に生きる人間が直面する諸課題について関心をもち、倫理的視点から意欲的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント
	現代の諸課題と倫理	・生命の問題と倫理課題 ・地球環境の問題と倫理的課題 ・科学技術の進展と倫理的課題 ・福祉の向上と倫理的課題 ・文化と宗教の影響と倫理的課題 ・国際平和と倫理的課題	a:現代の生命倫理や環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方、情報社会の在り方について、異文化の尊重や国際平和について理解し、人格形成に活かす知識として身に付けている。 b:現代の生命倫理や環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方、情報社会の在り方について、異文化の尊重や国際平和について、それぞれの倫理的諸課題を自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し、現代に生きる人間としての自己の在り方や生き方について主体的に判断している。 c:現代の諸事象における倫理的課題から、関心のある問題を積極的に選択し、自己の課題とつなげて意欲的に追究している。	定期考査 小テスト	定期考査 プリント 発表	授業観察 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度